

質問	回答
もう一度最初から見たいときのURLなどありましたら教えてください。	本セミナーはオンデマンドで公開予定です。
今回のセミナー動画をCIM対応社員にも見てもらいたいで、オンデマンド受講できるようにしてほしい	本セミナーはオンデマンドで公開予定です。
私は橋梁の詳細設計を主に行う設計コンサル勤務です。AutoCADPLUSの購入を悩んでいます。AutoCAD 3D MAPでGISデータの重ね合わせや作成・編集が可能と紹介されましたが、作成・編集とは具体的にどのような作業が可能なのかが知りたいです。Civil 3Dが使用可能となるAECコレクションは1ライセンスを購入済で、BIM/CIM業務に携わる人間も2~3人しかおりません。3D MAPが使えるようになることで、1ライセンスしかないCivil 3Dの業務をどれくらい分担することができるのでしょうか。	「GISデータの作成編集でどこまでできるか」は提供されるGISデータによります。がGISは基本2Dベースなので、今日ご説明した「3D地形、線形、土工モデルの作成」「横断面の自動作成」「土量の自動計算」などは行えません。Map 3Dは汎用的なGISツールなので、データの読み込み（shpなどのファイルベース、WFSなどのWebベース、どちらも対応）、フィーチャやプロパティの編集、視覚的な編集（主題図作成）、データの出力、などGISツールに求められる機能は一通り備えています。橋梁の詳細設計で使えるGISデータがありそうか？を先に把握されるのが良いと思います。Map 3Dのテキストは下記にございます。 https://bim-design.com/infra/training/file/Map3D/elementary/AutoCAD_Map_3D_2016_selftraining_basic_text.pdf
米国基準ではなく日本の（日本語のソフトを使用して、日本のデータ、日本の土木基準）での説明や操作テキストがもっとあるといいです。	下記リンクの4, 5.あたりが該当のテキストです。テキストは基本的に、日本語のソフト、日本仕様のテンプレートで作成されています。 https://bim-design.com/infra/training/civil3d.html
平面・縦断線形の要素が道路構造令に見合っているかどうかを自動的に判断してくれる機能はあるのでしょうか。	日本仕様の使用によって可能になります。下記リンクの「設計基準チェック」に書かれた項目に関して、照査に対応しています。 https://download.autodesk.com/us/support/files/autocad_civil_3d_japanese_country_kits/2012/readmecivil3djpcnt.pdf
BIM360での業務改善事例が知りたいです	こちらのアーカイブが参考になります。 https://bim-design.com/infra/online-seminar/asahi-consultants/
地質調査で実施するBIM/CIMの進め方、ソフト等の紹介を希望します。	次回以降のセミナーの参考とさせていただきます。
実用性のある操作内容で非常に助かります。ただ、道路ばかりなのは物足りない。	次回以降のセミナーの参考とさせていただきます。
1.算出できる数量は土工以外に何がありますか？法面の面積も求められますか？（Q&A提出済） 2.Civil3Dでは2D図面やその規格や形状などの要素を基に作図するようですが、3Dモデルを直接操作して書くことができるのでしょうか？うまく言葉にできませんが、3Dの鳥瞰図のまま作図作業ができるのでしょうか？ということです。	1. 土量に関しては、表面積 (2D) も求めることが可能です。こちらのリンクをご参照ください。 https://faq.mypage.otsuka-shokai.co.jp/app/answers/detail_view/a_cd/E9BE61CE11/dv_count/1 また、Civil 3Dの「プロパティセット」を活用いただくことで、AutoCADの3Dソリッドで作ったモデルの体積を求めることが可能です。 https://knowledge.autodesk.com/ja/support/civil-3d/learn-explore/caas/CloudHelp/cloudhelp/2020/JPN/Civil3D-UserGuide/files/GUID-FF05147B-A17B-4078-8B62-C40AE50255A9-htm.html 2. BIM/CIM モデルは、各種パラメータが組み合わさってできています。そのパラメータがBIM/CIMモデル（今日の説明であればコリドー）由来であれば3Dの鳥瞰図からでも編集できますし、2D（今日の説明であれば平面図、縦断面図、標準断面図）由来であれば3Dの鳥瞰図から編集はできません。